

令和4年度 建築BIM推進会議 スケジュールについて

第8回建築BIM推進会議
資料 1 7

○令和4年度建築BIM推進会議は、令和3年度同様、年2回程度の開催を予定。

○各部会（部会1～5）及び関係団体では、本日の議論を踏まえ、引き続き検討を進める。

- ・建築BIM環境整備部会（部会1）では、引き続き様々な課題等について官民の試行プロジェクトによる検証を進めつつ、ガイドライン（第2版）で継続的な課題として整理された課題について、個別の検討を議論予定。
- ・また、「建築BIMの将来像と工程表」のフォローアップとして、進捗状況の確認や、課題の追加・整理等について検討。
- ・他の部会・関係団体等の公表等された成果物を、個別のガイドラインとして整理いただいた上で、体系的に整理されたアウトプットを目指す。

○「人材育成、中小事業者の活用促進」や「ビッグデータ化、インフラプラットフォームとの連携」については、モデル事業等で知見を得つつ、引き続き建築BIM推進会議にて現状の把握や今後の進め方等について議論したうえで、必要に応じて部会設置等も検討を行う。

＜参考 令和元年9月「建築BIMの将来像と工程表」

将来像を実現するために建築業界に必要な取組と官民の役割分担		各取組を実現するために必要な検討事項
1.	BIMを活用した建築生産・維持管理に係るワークフローの整備 <small>〔国土交通省+関係団体〕</small>	BIM標準ガイドライン(ワークフロー)、BIM実行計画書の標準策定(BEP)、BIM発注者情報要件の標準策定(EIR)、竣工モデル定義、部品メーカーとのかわり方の整理、BIMを活用した場合の契約、業務報酬のあり方、著作権
2.	BIMモデルの形状と属性情報の標準化 <small>〔BIMライブラリ技術研究組合+関係団体〕</small>	オブジェクト標準、属性情報の標準化、オブジェクトライブラリー、メーカーオブジェクト、ライブラリーと仕様情報の連携
3.	BIMを活用した建築確認検査の実施 <small>〔建築確認におけるBIM活用推進協議会+関係団体〕</small>	BIM2D審査、ビューワー、BIM審査、BIM検査、AI審査・検査
4.	BIMによる積算の標準化 <small>〔(公社)日本建築積算協会+関係団体〕</small>	分類体系の整備、積算手法の標準化、コストマネジメント手法の確立
5.	BIMの情報共有基盤の整備 <small>〔(一社)buildingSMART Japan+関係団体〕</small>	国際標準・基準への理解促進、データ連携手法の確立、情報共有環境の整備、データ真正性確保技術の確立、デジタル証明技術の確立
6.	人材育成、中小事業者の活用促進 <small>〔(一社)buildingSMART Japan+関係団体〕</small>	BIMマネージャー(仮称)、BIM技術者資格、BIM講習・研修
7.	ビッグデータ化、インフラプラットフォームとの連携 <small>〔国土技術政策総合研究所・建築研究所+関係団体〕</small>	ビッグデータとしてのBIMの活用、インフラプラットフォームとの連携

- 【部会1、関係団体】
ガイドライン（第2版）
における課題等について継続的に議論
- 【部会2～5、関係団体】
部会・関係団体間で連携しつつ、各課題への検討を進める
- モデル事業等を行いつつ
建築BIM推進会議で
現状把握・進め方を議論
(必要に応じて部会設置)

